

## ANSWER

## 解答 | 問題2

1〜3とも、以下から2つ記せばよい。

## 1. ロングスパンエレベータ

- エレベーターから屋内作業場への出入口の段差を小さくする。
- エレベーターの停止階には、出入口及び荷の積卸し口の遮断設備を設ける。
- エレベーターの昇降路には人が出入りできないように、又、積み荷の落下、飛散がないように外周を金網等で養生する。
- 作業員に安全作業上の厳守事項並びに当該機械の運転者、性能等を周知させる看板を設置する。
- 安全装置の日常保守管理を行う。

## 2. 高所作業車

- 積載荷重の厳守。
- 水平に設置、坂道での使用禁止。
- 作業床を挙げた状態で走行しないこと。
- 強風等の悪天候時は作業は絶対に行わないこと。
- 機械の安全装置は絶対に解除しないこと。
- 作業区画を設置、明示し立入禁止実施すること。

## 3. バックホウ

- 旋回範囲内に作業員や第三者を立ち入らせないこと。
- 前照灯を備え付けること。
- バケットにフック・シャックルを取り付けたとき以外は、バケットで荷を吊ってはいけない
- 路肩・傾斜地での作業や労働者の作業個所に後進して接近するときは、誘導者を配置すること。
- 運転者が運転席を離れるときは、バケットを地上に降し、原動機を止めて走行ブレーキをかけること。
- トラックに土砂等を積み込むときは、荷台の後方から旋回させて積み込むこと。

## 解答 | 問題3

1. ②: タワー式      2. ①: 平板状 (平状)  
3. ①: ケリーバー      4. ①: 1.4      5. ③: 小さい  
6. ③: 30      7. ①: 100      8. ③: 30

## 解答 | 問題4

以下から、それぞれ2つずつ記す。

## 1

- 保護コンクリートは防水層施工後すみやかに打設する
- 保護コンクリート中に敷き込む溶接金網の重ねは、1節半以上かつ150mm以上とする。
- 保護コンクリートの厚さは、こて仕上げの場合は80mm以上とし、所定の勾配をとる。
- 押えコンクリートに配管を埋め込む場合は、配管に先立ち防水層の上に厚さ15mmの保護モルタルを施す。
- コンクリートポンプ車の庄送管が防水層に直接触れないようにする。

## 2

- 可使時間内に施工できるよう、時間、距離を考えてプラントを選定する。
- 下地となるコンクリート面の不陸凹凸が大きい場合は補修を行っておく。
- 流し込み作業中はできる限り通風をなくし、施工後も硬化するまでは甚だしい通風を避ける。
- 気温5℃以下の状態での施工は避ける。
- 標準塗厚は10mmとする。
- 標準塗厚での養生期間は7日以上とし、冬季は14日以上とする。

## 3

- 下地の汚れ、剥離、ひび割れ、硬化不良等のないことを確認する。
- ホルムアルデヒド放散量に対しては、基本的にはF☆☆☆☆を使用する。
- 接着剤1回の塗布面積は3m<sup>2</sup>以内とし、30分以内に張り終える面積とする。
- 練り混ぜ量は、1回の塗布量とする。
- 接着剤は金ごてを用いて平坦に塗布した後、所定のくし目ごてを用いてくし目を立てる。
- 目地直しは、張り付けたタイルが自由に動く間に行う (貼り付け後30分以内)

## 4

- 下地の汚れ、剥離、ひび割れ、硬化不良等のないことを確認する。
- ホルムアルデヒド放散量に対しては、基本的にはF☆☆☆☆を使用する。
- 接着剤1回の塗布面積は3m<sup>2</sup>以内とし、30分以内に張り終える面積とする。
- 練り混ぜ量は、1回の塗布量とする。
- 接着剤は金ごてを用いて平坦に塗布した後、所定のくし目ごてを用いてくし目を立てる。
- 目地直しは、張り付けたタイルが自由に動く間に行う (貼り付け後30分以内)

## 解答 | 問題5

1. A: アンカーボルト埋込み      B: 床仕上げ張り  
2. 不適当な作業名: クライミング式ジブクレーン  
終了日: 8月中旬  
3. 開始日: 7月中旬      終了日: 8月中旬

## 解答 | 問題6

- ①施工計画      ②工程管理      ③仮筋かい  
④倒壊 ⑤有害      ⑥医師